



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年4月10日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 「白いダイヤ」ウナギを守る研究者

10日(日)=1、3面



ご存じの通り日本人は、ウナギが大好きですが、実は天然ウナギの漁獲量はこの約60年で9割以上も減っています。ニホンウナギは絶滅危惧種に指定されており「ウナギは食べていいのか」という議論も交わされています。

厳しい状況の中、ウナギの保全生態学者、海部健三さん=写真=はウナギ業界などに掛け合っ「白いダイヤ」とも呼ばれる稚魚の密漁や闇ルートでの流通を防ごうと活動しています。原則論を貫くあまり、業界などとの対立を招いてしまう

こともありました。また、海部さんは海外での保護政策を学んだことを日本でも生かしたいと語ります。果たしてウナギは守れるのか。そして食べ続けてもいいのか。海部さんの活躍に迫ります。

## 論点 戦争と平和 ウクライナ侵攻から考える

15日(金)=オピニオン面

ロシア軍のウクライナ侵攻は平和がいかにもろいかを我々に突きつけました。世界で最も多くの国が同意する国連憲章は、武力行使について条文では「慎まなければならない」と記述しているだけで

「禁止する」とまでは踏み込んでいません。日本も含む全世界が、経済制裁やインターネットを利用した情報戦を通じて戦争の「当事国」になっているとも言えます。戦争と平和について考えます。



ウクライナから日本に到着した避難民

ギャンブル依存の相談に応じる専門家(奥)



仕事帰りに毎日パチンコ通い、競馬に飲み代で借金は750万円。字面だけ見れば「ギャンブル依存症」の会社員男性ですが、過去を振り返ると、発達障害のため目に見えない生きづらさを抱えていたことが見えてきました。ギャンブルに依存する人の中には、この男性のように

## ギャンブル依存症と発達障害

13日(水)＝くらしナビ面

うに隠れた発達障害の人がいると専門家は警鐘を鳴らします。特性に合わせた治療や支援が必要になっています。

## 特集ワイド 終わらぬ戦禍 浅田次郎さんの思い

14日(木)=夕刊特集ワイド面

ロシア軍によるウクライナ侵攻に業を煮やしているのが「鉄道員(ぼっぼや)」などで知られる直木賞作家の浅田次郎さん(70)=写真=です。2010年の長編「終わらざる夏」では、千島列島最北端の孤

島で起きたソ連軍と日本軍の戦闘、戦争の実相を描いて話題となりました。繰り返される戦禍に関し、浅田さんは反戦の意思を明確にしたうえで、ロシアとプーチン大統領の今後について語りました。



新毎日 150 2022年2月21日 毎日新聞創刊150年

4月に異動してきま... 竹橋の窓辺から 編集後記



※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。